

イエス様、バプテスマを受ける



イエス様が 30 才になったころ、神様はバプテスマのヨハネ（イエス様のいとこ）をユダヤの人々のもとに送って、神様のみ子が来られるから、罪をくい改めてバプテスマを受け、心を備えるようにと、人々に宣べ伝えさせた。

ヨハネは、ラクダの毛から作られた衣を身にまとい、荒野で暮らしていた。そして、ヨルダン川のほとりで説教していたんだよ。

人々は、神様からのゆるしを求めてやって来た。ヨハネは川の中で人々にバプテスマを授けていたけど、それは、霊が洗い清められることを表しているんだ。

ある日、イエス様がバプテスマを授けてもらうために、ヨハネのもとへやって来られた。そしてイエス様が水から上がると、天から神様の声が聞こえてきたんだよ。「あなたはわたしの愛する子だ。」ってね。すると、聖霊がハトのように天から下って来て、イエス様の上に留まったんだよ。

このお話のくわしいことは、ルカによる福音書の 3:1-22 か、ヨハネによる福音書の 1:19-34 か、マルコによる福音書の 1:1-11 か、マタイによる福音書の 3:1-17 で読んでね。